

新型コロナウイルス感染症対策下の支援について

1 現在までの取組み

新型コロナウイルス感染症拡大と緊急事態宣言の発出に伴い、令和2年3月から5月まで、児童発達支援「元気キッズ」等の事業を休止しました。

休止中、在宅で過ごすことによる孤立を防止するため、保護者に対し電話での支援を実施しました（電話での支援件数 4月108件、5月127件）。

6月から午前・午後に分けての分散利用を開始、7月から通常利用を再開しました。

通所支援の再開にあたり、嘱託医に意見をいただきながら「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を策定しました。

地域支援事業及び相談支援事業については、市のガイドライン（「入間市主催事業等の開催における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」）に沿って、3密を避ける事業運営を行っています。

2 今後の取組み

今後も3密を避け、感染症対策を図りながら事業を実施します。

市のガイドラインでは、必要最低限の時間で、オンライン開催、書面開催等の形式での事業（イベント）の実施を基本としています。

「元気キッズ」等の児童発達支援事業については、引き続き、対応マニュアルに沿って運営します。

児童発達支援センターでは、相談支援を充実するため、新たな相談窓口を開設し、また、地域への支援のための事業展開を計画しています。

感染症への対応として、直接対面しての相談や、他人数が集会しての催しに代わる「オンライン相談支援事業」を準備しています。

3 新型コロナウイルス感染症対策下における児童発達支援センターの役割

感染症対策に関し、児童発達支援センターが対応できる支援や担うべきことについて今後の事業運営の参考としたいため、各委員の所属機関や団体において実施している対策に関して意見をうかがいたいものです。

- 1) 感染症防止のためどのような対策を行っているか
- 2) 事業運営や支援を行ううえで課題となっていること
- 3) 児童発達支援センターが対応できる支援や担うべきことについて